

第 28 回 名古屋高速道路公社料金問題調査会 議 事 録 要 旨

1. 日 時 平成 16 年 10 月 26 日 (火) 10:00 ~ 11:20
2. 場 所 名古屋高速道路公社黒川ビル 2 階大会議室
3. 出席者

名古屋高速道路公社料金問題調査会委員

かわかみ しょうご 河上 省吾	(会長) 関西大学工学部教授・名古屋大学名誉教授
おくの のぶひろ 奥野 信宏	中京大学大学院経済学研究科教授
くどう しょうぶ 工藤 尚武	名古屋商工会議所専務理事
ささき ちよこ 佐々木千代子	なごや消費者団体連絡会会長
たかだ ひろこ 高田 弘子	都市調査室代表
まつい ひろし 松井 寛	名城大学理工学部教授・名古屋工業大学名誉教授
やまもと こうし 山本 幸司	名古屋工業大学大学院工学研究科教授
わかまつ としこ 若松 利子	愛知消費者協会副会長

(敬称略、会長の外五十音順)

4. 会議内容

調査会意見書(案)及び意見書参考資料について説明及び審議が行われた。

5. 主な審議内容

委員： 意見書(案)に異論はないが、2ページの4の経営改善のところは、経営改善全般について書いてあるが、但し書きで突然「管理水準」になっている。ここは、利用者の立場に立った書き方で、「サービス水準」と書いた方がいいのではないかと思う。

また、「ただし、維持管理コストの縮減検討にあたっては」ではなく、「ただし、経営改善にあたっては」とした方がいいのではないか。こだわってはいませんが。

会長： 今の修正提案について何か意見はありますか

公社： 意見書参考資料の12ページを見ていただきたいのですが、この資料は管理コストをどれくらい縮減するかを実際の数字でシュミレーションしたもので、これで、償還計画を作成したいということで紹介してきました。

この資料は、平成8年ベースで試算しておりまして、平成8年の1キロ当たり管理費が約1億9千万円で、これが平成17年には2割減の約1億5千万円になります。

ここからさらにコスト縮減していきますが、やはり施設の老朽化に伴って10年ぐらい過ぎれば補修する部分が出てきます。最後に建設が完了した1

0年ぐらい後からは同じコストで推移し、それが1キロ当たり約1億6千万円ぐらいと考えています。

特にこの説明に関して料金問題調査会よりご意見をいただきましたのは、道路の修繕管理といいますか舗装が傷めば補修したり、橋梁下部を耐震等で補修したりしますが、このようなものについては、けちらないで下さいというご意見だったと思います。

維持管理コストを管理水準という表現にしましたが、お客様に対してのサービス水準と書く事については、サービス水準の中に管理水準が含まれると思いますので、サービス水準が適切だと思います。書いた趣旨はそのようなこととさせていただきます。

会長： 管理水準を、サービス水準に修正する事について、いかがでしょうか。
〔意見なし〕

それでは、今の箇所は、維持管理コストのところは残して、最後の管理水準をサービス水準に変えるということにします。

会長： 今の箇所で更に何か意見はありますか。

公社： 前段の「維持管理コストの縮減検討」を「経営改善」という言葉に、代えさせていただくことでよろしいでしょうか。

「経営改善にあたっては、重要な社会基盤としての適切なサービス水準を損なうことがないように」というように変えさせていただきたい。

会長： はい、わかりました。
他に何か意見はありますか。

委員： 趣旨が変わってくるのではないですか。
この箇所で言いたかったのは、経営改善でコスト縮減をしていく方向で考えなければいけないが、そのときには利用者のサービス水準を損なうことがないようにということで、経営改善全体は下段の2行を除く上の部分で一般論として記載しており、下段の2行の維持管理コストについてはこのような表現で受け止めた方がいいのではないかと思う。

委員： ここのところで、維持管理コストの縮減については、例えば、維持管理がしやすいようにということも入ってくるのではないかと思う。そういうことから、幅広く表現したほうがいいのではないかという趣旨です。

委員： この部分は強く言った方がいいのではないか。

公社： 事務局からの提案ですが、ただし以降ですが「ただし、経営改善にあたっては、設計・管理全般について・・・」というようにしたらわかりやすいと思いますがどうでしょうか。

会長： それでは、そういう方向で修正していただきたい。
そのほかに何か意見はありますか。

委員： 2ページの上から3行目「検討も」を「検討が」に、2行目の「行うとともに」を「行い」にして頂きたい。
「検討も」では、やってもいいかなという感じを受けるが、ここは料金施策をやるということなので、「やる」と書いてほしい。

- 会 長： 今のご意見について、いかがでしょうか
- 公 社： おしゃるとおり、「検討も」を「検討が」に修正させていただきます。
- 会 長： それでは、ここは修正することにします。
他に何かありますか。
- 会 長： 先程、委員から事前に提案がありました、2ページの5の(1)「ETCを活用した料金施策」を「料金施策等」にすることについてはいかがでしょうか。
- 公 社： ここは、ETCを活用した料金施策と言うことで全般を書いておりますが、「なお」以下の表現は、回数券などの割引も念頭にありますし、「ETCを活用した料金施策等」に修正させていただきたいと思います。
- 会 長： わかりました。そのほかに何かありますか。
- 委 員： 3ページの(3)環境の改善・安全対策のところ、内容についてはこれでいいのですが、「道路交通騒音の低減」が前にあるのではなく、「道路管理者として最新の知見を取り入れて、道路交通騒音の低減など」とした方がいいと思います。
このままですと、道路騒音だけに知見を取り入れるということに聞こえます。今度の環境博もあるので、環境について積極的に取り入れているという、積極性がもう少しあってもいいと思います。今までの道路の騒音に対する対応をもう少し積極的にという意味をもたせるべきだと思います。
- 会 長： この部分の後段には、沿道環境改善だけではなく「耐震性向上等の道路構造強化や路面の整備等に努めることが望まれる。」が入っていますが、
- 委 員： 後ろではなく、環境のことです。「最新の知見」はいいとこなので全体にかけた方がよい。
- 会 長： 全体というのは、環境の改善・安全対策全般についてですね。そうなっているのではないですか。
- 委 員： 「道路管理者としての最新の知見を取り入れ」を最初に持ってくる。
- 会 長： 「道路交通騒音」の前にもってくるのですね。
- 委 員： それでしたら、「道路管理者としての最新の知見を取り入れ」を文頭部分に持って行き「一層円滑な交通流・・・」に続けたらどうでしょうか。
- 会 長： その方が、いいように思います。
では、今言われたように修正します。
その他に意見がありますか。
- 公 社： 先程の2ページの、「ただし」以降のところでございますが、修正文を読まさせていただきます。
「ただし、経営改善にあたっては、設計・維持管理等全般にわたって、重

要な社会基盤としての適切なサービス水準を損なうことがないように十分な配慮が必要である。」ということではいかがでしょうか。

会長： このところは、今の様に修正するということにさせていただきたいと思います。

委員： それならば、「ただし」ではなく、「なお」の方がいいと思います。

会長： 「なお」とします。
その他に何かありましたら。

委員： 前回の調査会で、前回認可時の意見書の中に盛り込んである文章等のうち、今回の意見書の中に盛り込んでない項目等であって、それが十分達成されていないと思われるものがあれば、追加してはどうかという発言をさせていただいたと思います。

　　公社から前回料金認可時の答申資料をもう一度届けていただいて、読ませていただいたところ、そういうところはありませんでした。

　　ある項目については、もう既に検討していますし、残る部分も今回の表現の中に入ってきております。

　　強いて、一つだけと言え、前回の意見書で記述された「公的助成等のあり方」については、我々はあまり議論しませんでした、道路公団、道路関係四公団民営化でもいろいろ議論がなされた事項です。

　　前回の委員会では、ああいう発言をしましたが、今回のこの案で十分という風に考えています。

会長： 特に付け足す必要はないということですね。
　　じゃあ、その他に何かありましたら。

委員： 文章として特に意義はありません。特にこの1ページの一宮線の料金設定というところで、小牧線等との事を考えまして、普通車を350円にするということで妥当なのではないかと思えます。

　　それから、全体に、議論を通じて非常に弾力的に対応していただいているように感じましたし、非常に姿勢もいいんじゃないかなという風に感じました。

　　そういう中で、これは文章ではないんですが、特に二つお願いしたいのは、2ページ一番上の所にも書いてございますけれども、清洲線の早期整備の問題、この一宮線の料金設定の考え方については、前回の議論を踏まえて書かれておりますとおり、一宮線の効果を十分に発揮するためには、清洲線の早期整備が重要と思えますので、是非実行していただきたいと思えます。

　　それからもう一点、今後の検討課題のところ、名古屋都市圏高速道路網における料金のあり方というところに書いてありますが、名古屋の場合は比較的狭い地域に、主体の異なる高速道路があるということから、どうしてもこういう面が目立つんではないかなと思えます。

　　タクシーに乗っても、運転手さんが言うのはこの点が多いと思えますので、この点についても是非、異なる主体間の調整の問題に積極的に取り組んでいただいて、これは経済界としても後押しをさせていただきたいと思えますのでよろしく願いいたします。

会長： 今のご意見は、ここに書いてあることはちゃんとやって欲しいという、そういう趣旨だということですか。

(はい)
その他に何かございましたら。

委員： 意見書についてのことは特にこれ以上の指摘をさせていただくようなことはないと思いますが、関連して、将来の課題というか、質問を兼ねてお尋ねします。

国はE T C利用率をあと一年くらいで7割まで高めることを目標に、かなり思い切ったことをやっています。

いずれにしてもE T C利用率が100%近くになっていくと思いますが、その時には都市高速の場合は料金所処理能力が大幅に向上します。そうすると今までと違うところで渋滞が起こる可能性がある。

今でも都心環状が混んでいます。ネットワークが変わることによる影響もあるでしょうが、E T C化が進行した状態では、渋滞対策の中身がかなり変わってくるという感じをしています。

もちろん料金制度も非常に弾力的なことが可能となりますので、料金制度とも関係があります。

未知数が非常に多くありますが、このことについても検討していただいた方がいいのかなという感想を持ちました。

会長： 今のはこれからに対して、そういう問題が起こりうるということのご指示だったと思いますが。その他に何かございましたら。

それでは、ここで修正したところをもう一回確認していただきたいと思います。

公社： それでは修正点の確認をさせていただきます。

まず、1ページでございます。(1)の一宮線の料金圏のところ、「一宮線の料金圏は名古屋線とは」の後に「、」がありますが、点を一つ取るということです。

2ページの上から3行目「一宮線や小牧線と名古屋線を乗り継ぐ端末割引等の料金施策の検討も必要である」を、「・・・検討が必要である」に修正。

4.の経営改善の下から2行目、ただしというところからですが、「なお、経営改善にあたっては、設計・維持管理等全般にわたって重要な社会基盤としての適切なサービス水準を損なうことがないように十分な配慮が必要である。」という風に修正させていただきたいと思います。

5.のお客様サービス向上への対応の(1)「E T Cを活用した料金施策」の次に「等」を加えさせていただきましたので、「E T Cを活用した料金施策等」にさせていただきたいと思います。

3ページの(3)環境の改善・安全対策の次の文落でございますが、一番最初に「道路管理者として最新の知見を取り入れ、一層円滑な交通流を確保するとともに、道路交通騒音の低減など沿道環境改善を図るとともに、耐震性向上等の道路構造強化や路面の整備等に努めることが望まれる。」ということで、一番最初に「道路管理者として最新の知見を取り入れ」というのを持ってくるという修正をさせていただきます。

以上だと思しますのでよろしくお願いいたします。

会長： それでは以上のような修正を含んで、この「名古屋高速道路料金についての意見書(案)」について、皆様のご意見を最終的にお一人ずつ確認させていただきたいと思います。

委員： 事務局で修正していただければいいんだと思いますけれども、今の文章で

すと、最後のところが、「ともに」、「ともに」になりますので、何か工夫していただけないか。

公 社： 今のところでございますけれども、「道路管理者として最新の知見を取り入れ、一層円滑な交通流を確保し、」に修正して後は先程と同じにさせていただきますと思います。

会 長： 今の様な修正を踏まえて、お一人ずつの委員の方に最終確認をお願いします。

委 員： 所属団体での議論や家庭での会話の中で、いろんな事に関してもっと認識を深める必要があると思いました。

会 長： これに関してはご異論はないということですね。

委 員： はい。

委 員： 私も報告を聞きまして、よく纏めていただいていると思います。
その中で特に私は、前から言っていますように、2ページのところで「料金を上げることのないように」という一言が、私たち利用者としてはうれしいことでもあります。
そして管理、経営改善について随分心細やかに明記していただいております、何も異議ございません。ありがとうございます。

委 員： 今回初めて加えさせていただきましたけれども、厳しい我々の発言といたしますか、意見に対して公社の方は真摯に回答していただいたと思います。
中身については全く異論はありません。
この委員会は料金問題調査会という名称になっていますが、今回の議論でも料金問題のことだけではなく、公社の経営までというのはおこがましいですが、我々の議論は幅広かったと思います。
次の調査会は、例えば清洲線を供用するときということではなくて、機会を捉えて開催していただければと思います。

委 員： 私は料金問題を通して、例えば、経済効果だけではない名古屋高速道路の使命があるなと思ったんですが、それを使う方だけではなくて、それを支えている、市民か県民かということだと思っんですが、そういう方達への理解をしやすいように努力をすべきかなという風に思っております。
少し気になっているのは、お客様からだけの意見を尊重していたのでは、高速道路のありようというのは改善というか理解が届かないというところがあるということです。
だから、一般の方を対象としたPR活動とか、環境対策もちゃんとやっているよとか、これが名古屋都市圏の経済・生活文化に貢献していくんだよという姿勢が欲しいと思っていました。
今回いろいろ議論をさせていただいて柔軟に公社が考えていただけてるなというので、少し意は強くしたんですが、これはずっと続けてそういう気持ちを持っていただきたいという風に思います。担当者が代わったら変わることがないようにやっていただきたいと思います。

委 員： 大変柔軟に対応していただいて、特に異論はございません。

委員： 先程申し上げたとおりでございますので、全体として特に異議はございません。

委員： 私は随分欠席が続き、ご迷惑をおかけしました。今日、最終案を拝見いたしまして、皆様方のご尽力でいい意見書が纏まったなと感じておりました。安心しております。今、料金は日本一高いと言われておりますけれども、是非これからも日本一サービスのいい高速道路を目指してご尽力いただきたいと思います。

会長： ありがとうございます。それでは、この今修正されました調査会の意見書を料金問題調査会の最終意見とさせていただきますとよろしいでしょうか。

公社： 事務局からちょっと修正をお願いしたいと思います。日本語として少し解りにくいところがございます。4ページの今後の検討課題の(1)の一番最後の所ですが、「関係機関等と連携しての検討が望まれる。」と書いてございますが、「関係機関等と連携して検討されることが望まれる。」の方がいいと思いますので、事務局として提案させていただきたいと思います。

会長： それでは、これも含めて最終意見とさせていただきたいと思います。

ワザバ-： 先程2ページの「設計・維持管理全般にわたって」という修正がありましたが、通常は「建設・維持管理全般」という言葉を使うと思います。「設計」とすると施行という意味が入らないので、用語的には「建設・維持管理全般」というのが普通じゃないかと思います。

会長： はい、貴重なご忠告がありましたので、修正させていただいた方がいいですね。

公社： 修正させていただきます。

会長： それでは、ただ今の様な形で修正されたものをこの料金問題調査会の最終意見書ということにさせていただきます。

意見書の最終確認は私が行わせていただき、修正の確認後に私より公社理事長に対して答申を行うとともに、マスコミ等への発表ををさせていただくということでご了解頂けますでしょうか。

それでは、以上で調査会の審議を終了させていただきます。どうも皆様ご協力ありがとうございました。